

石裂山山行報告

【山行日】 2015年 4月 29(水) 快晴
【集 合】 栃木市運動公園P AM 7:00
【費 用】 マイカー2台 : 700円
【メンバー】 CL:鈴木、 大西、香川、梶内、
島田、関、谷口、中田、福田々、松舘、渡辺、筒井
【コースタイム】栃木市運動公園 P7:00＝加蘇山
神社 P8:05/8:20～竜ヶ滝休憩舎 8:50～中の宮
9:20～東剣ヶ峰 10:00～石裂山 10:55～月山
11:15/11:55～竜ヶ滝休憩舎 12:50/13:00～加蘇
山神社P13:20＝栃木市運動公園P14:15



アカヤシオの花が一番美しい時季を狙って石裂山山行を計画したが、今年は花の時季が異常に



早くアカヤシオの花は終わったとの情報にガッカリしたが、新緑を求めて登ることにした。

今回は、体験参加者を含めて12名参加となったので、混雑を避けて登れ、良かったのかもしれない。登山口手前の加蘇山神社社務所前のトイレに寄る。ここから大水沢沿いに進むと、加蘇山神社下の駐車場に着く。ストレッチを済ませ、体験参加者と参加者の自己紹介をして出発する。

加蘇山神社の石段を登り、神社で今日の登

山の安全を祈願し神社の左手に付けられた登山道を進む。すぐに沢沿いからの道と合わさり、沢沿

いの気持ちが良い登山道を進み、いくつか橋を渡ると清滝が現れ、少し登ると竜ヶ滝の休憩舎に着く。衣服調整と水分補給をし、少し進むとすぐに月山からの下山に使う周回コースの分岐となる。分岐を直進するとすぐに、県の天然記念物に指定されている「千本かつら」を右手に見るようになる。千本かつらを巻くように左に登り、沢を渡ると急登が始まり、岩場を登りきると東屋がある中の宮に着く。東屋で休憩をとり、コーヒーと羊羹、リンゴをいただきエネルギーを補給する。この先に行者帰り岩があり、梯子と鎖が連続する岩場の登降となるので、ストックを



しまい準備する。間隔を空けて、三点支持で登るように指示したが皆さん難なく越えて行く。体験参加のT井さんも、上手に登って行く。登り切って少し進むと、一枚岩に梯子が掛かった奥ノ宮への登

りが現れる。梯子を伝って登ると洞窟があり、加蘇山神社の奥ノ宮が祀られている。



奥ノ宮からは急斜面の痩せ尾根を登るようになり、木の根を頼りに登るとヒゲスリ岩の岩場に出る。

アルミの橋を渡り、岩をトラバースしながら進み尾根に登り上がると道標があり右に折れて進む。

新緑に包まれた快適な尾根を進むと、本日最大の難所東剣ヶ峰に着く。ここから対岸の斜面は、例年アカヤシオの花でピンクに染まるが、今日は新緑の中に山桜が目を楽しませてくれた。足元には白花のコイ

ワカガミが疲れを癒してくれる。アルミの梯子を慎重に下り、鞍部からすぐに登り返すと西剣ヶ峰に着く。西剣ヶ峰からは、眼前に石裂山が大きく聳え眺望を楽しむ。西剣ヶ峰からも、アルミの梯子を下り御沢峠へ降り立つ。

峠から右に巻くように登り、尾根上に着くと石裂山への分岐となる。

分岐から左に数十メートル進むと、石裂山山頂に立つ。トウゴクミツバツツジが出迎えてくれ、記念写真を撮って月山へ向かう。

分岐まで戻り、左に進んで10分ほど急登を頑張ると月山山頂へ着く。

山頂には鳥居と祠が祀られていたが、祠は崩壊し柱と屋根だけが残っていた。ここでランチタイムとし、いつものうどんを作って皆さんと美味しくいただく。ゆっくり昼食をいただき、記念写真を撮って山頂を後にする。東へ延びる尾根を下り、途中から右へ杉林の中の急斜面を下り、鎖場やハシゴを超えて下ると沢沿いの倒木の中を歩くようになり、沢を渡渉すると上りの登山道へ出る。ほんの少し下ると竜ヶ滝休憩舎に着き、最後の休憩をとってK内さんが持参してくれた手作りの水ようかんをいただく。冷たく冷えた水ようかんはとても美味しく、今までの疲れを和らげてくれた。休憩舎からは、来た時の沢沿いの道を軽やかに下り加蘇山神社下の駐車場に着いた。社務所前のトイレに寄り、途中セブンイレブンで冷たい飲み物をゲットし、予定より早く帰着することが出来た。

